

当社における成果例

✓ 製造DXの成果^{*1}

- 自工程完結^{*2}による
 - 人時生産性 450%
 - 市場品質向上（6σ達成）
 - トータルスループット 1/2
- エネルギー原単位 61%削減^{*3}
- 従業員エンゲージメント向上



^{*1} 当社甲府事業所における成果

^{*2} 工程内で品質を完結させ、不良を次の工程に送らない仕組み

^{*3} 対1990年比

✓ YOKOGAWAメソッドの効果

早期
実現

- データドリブンの実装
- 共通のKPIを持つ組織
- 組織横断的な連携強化
- 主体的に変革する現場
- 意思決定の迅速化
- 組織行動変革期間の短縮（10年→2年）

✓ なぜYOKOGAWAか？

- 製造DXの現場体験が可能
- 多くの失敗からの学び
- 拠点展開の実践知

DRMコンサルティングの目指すビジョン

お客様への提供価値

環境や市場の変化に対応し、データに基づき
リアルタイムかつ最適な経営判断



社会への提供価値

環境の変化に柔軟に対応できる
持続可能な社会の実現



横河マニュファクチャリング株式会社

本社 〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32（横河電機本社内）
甲府事業所 〒400-8558 山梨県甲府市高室町155

記載されているサービス名は横河マニュファクチャリング株式会社の登録商標または商標です。
記載内容はお断りなく変更することがありますので、ご了承ください。
Copyright © 2025 Yokogawa Manufacturing Corporation

YOKOGAWA ◆ Co-innovating tomorrow™

初版：2025.7

変革できる組織にはメソッドがある — 成功体験を積み重ねる現場主体のDX —



Dynamic Responsive Manufacturing コンサルティング (DRM)

製造DXを実践するYOKOGAWAメソッドの
横展開からデータドリブン経営までを伴走支援

直面する課題

取り組むべき経営テーマ

利益の最大化、安全衛生の確保、品質リスクの低減、トータルスループット、人的資源の確保、環境への配慮など

経営と現場のギャップ



- 様々な経営テーマに同時対応が必要
- 現場の状態をリアルタイムに把握できない
- あるべき姿が描けない



- 現状を変えたくない
- どこから手をつければよいかわからない
- 現場の声が届かない

DRMコンサルティングのステップ



実現すること



市場要求に柔軟に対応できる**俊敏**な生産



人にやさしい誇りを持って働ける工場



収益最大化と**環境負荷**の最適なバランス

変化に適応し続ける組織
自分事化
経営と現場の一体化

DRMコンサルティングを構成する実践知(無形資本)

学習する組織への変革

新しいあるべき姿

データ プロセス 組織行動

フォーカステーマへの取組みを通じて意識改革と組織行動の変容を実践

組織構造
組織文化
ガバナンス

用語の解説

A+B+C : 営業・生産・物流の三位一体が、効率経営を実現する
情物一体 : 物と情報の一体化により、トレーサビリティを確保し、End to Endの全体最適を実現する
自工程完結 : 工程内で品質を完結させ、不良を次の工程に送らない仕組み
進化 : 機能のグローバル連携から全体の整流化を実現する
深化 : 日々改善し変種変量にフレキシブルに対応を実現する
伸化 : 現場改善から社員一人ひとりの成長を実現する

